

公表: 令和 8 年 3 月 30 日

事業所名 発達支援サービススマイルワン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<p>・活動スペースの広さや職員数は国の基準を満たしております。ビジョントレーニング等の運動を行う際には周りの環境を整え、安全に活動ができるよう努めています。曜日によって利用人数が多い場合は職員を増員して対応しております。</p> <p>・入口が一段下っておりバリアフリーではありませんが、プレイルームやその他のスペースはバリアフリーとなっています。ホール内はスケルトンですので、職員間の情報伝達・共有がスムーズに行うことができしております。</p> <p>・活動に見通しがもてるよう、ホワイトボードに時計と写真を使用し視覚的に分かりやすく知らせるなど配慮しております。</p>
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			<p>・保護者アンケートの結果だけでなく、日々の送迎の時や面談時にお話をしたことを職員間で共有し改善できることはすぐに実行しています。</p> <p>・定期的に社内研修を行ったり、外部の研修(ビジョントレーニング・発達支援研修・集団指導等)へも積極的に参加しております。内容は職員間で共有して職員の資質の向上を目指していきます。</p> <p>定期的に職員との面談を行い職員との意思疎通を図っています。</p>
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<p>・放課後等デイサービス支援計画は、放課後等デイサービスガイドラインに基づき、保護者との面談で将来像も踏まえた上での話し合いをして状況や課題を整理し作成しております。子どもとの関わりの中でニーズや課題、気が付いたこと支援会議で話し合いより適切な支援が行えるように努めております。</p> <p>・活動プログラムについては、常に職員と話し合いをしており、多面的多角的に支援できるよう立案しています。</p> <p>・平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ、プログラムが固定化されないように戸外活動や室内活動、個別活動などの様々な経験ができるよう配慮しています。一つのプログラムでもバリエーションを増やしながら活動しています。</p> <p>・支援開始前後の必ず打ち合わせをして支援内容や役割分担、注意事項を確認しています。</p>
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

	⑩⑪	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後にはその日のことを振り返り、気付いた点や改善点等を話し合い共有しております。課題があった際には、すぐにリカバリープランを考えて対処しています。
	⑫⑬	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々、個別支援計画に基づき支援し、記録をとって検証したり改善案を立てています。
	⑭⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・活動プログラムは放課後等デイサービスのガイドラインに基づいて一人一人の発達過程や特性等を配慮し、室内や戸外での活動など、様々な経験をしていくことができるように工夫しております。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当者会議には担当者が参加し、その後職員に情報共有を行っております。
	⑱	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・関係機関との連携については、保護者の同意のもと学校等の関係機関と情報共有を必要に応じて行い支援に努めています。行事等で下校時間の変更がある場合は時間を確認し、送迎調整を行えるよう情報共有をしております。
	⑲	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・定期的 に児童発達支援センターの方の訪問により、助言をいただいております。
	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・送迎時や面談、連絡帳やメール、ラインにて日々の状況を話したり、困り感や要望をヒアリングし子どもの発達状況や課題について共通理解を持ち、支援していくことができるよう努めています。保護者の子どもへの対応等も話し合いの中で伝え支援してます。偏った助言がないよう、職員間で共有して客観的、専門的な観点からお答えできるよう努めていきます。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・公園外出した際に遊びに来ている子どもと一緒に遊ぶ機会を設けることができました。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・家族支援プログラムについて、相談を受けた際には個別に対応させていただき、スマイルワンで行っている支援内容や自宅で行えること等助言をしています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			<p>・運営規定、支援の内容、利用者負担等につきましては、安心して利用していただけるよう入園時にわかりやすく丁寧な説明を心がけております。</p> <p>・保護者の相談や子育ての悩みについても職員が迅速に対応できるよう心がけています。今後も保護者が言いやすい環境を整え、職員とお子さんの様子を伝えあい、連携できるような体制を整えていきます。</p> <p>・定期的に会報やInstagramにて、活動の様子や職員の研修内容等発信しています。</p> <p>・個人情報の取り扱いについても再確認し、今後も書類やデータの保管など十分注意してまいります。</p>
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<p>・非常時の対応につきましては、各種マニュアルを作成しそれに基づいて研修を行っています。虐待防止や身体拘束に関しても委員会を設置し、職員間で研修しております。今後は保護者との面談の際に周知していただけるよう説明してまいります。</p> <p>・防災センターへ外出をして災害についての学びの機会を設けたり、事業所内におきましても定期的に避難訓練を行っています。</p> <p>・契約時にアレルギーの有無と対応方法について確認しています。</p> <p>・意思疎通や情報伝達の為の手段として絵カードを使用したり、視覚的にわかりやすく伝えることを心がけています。</p>
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。